

とよさか通信



令和8年度 学校だより
令和8年10月5日 No.19
文責 成田 敦子

1年の折り返し、10月です。

とよさかっ子わくわく俳句大会9月場所

9月場所には102作品の応募があり、豊坂小学校の先生たちに審査をしていただきました。秋の様々な景色や思いが俳句に乗せて表現されており、情景が浮かんできました。

＜とよさか大賞受賞作品＞

こおろぎがぼくといっしょにあそぶんだ	1の2	TD
さかみちをころがるどんぐりおいつけない	2の2	SU
やんだのにまた聞こえるよ雨の音	3の2	OA
お月さまうさぎぴよこぴよこたのしそう	1の2	YM
柿食べて渋き味だなこれはずれ	6の1	IA
木の上でゆらゆらおどるもみじの葉	6の1	SR
紅にそまるところかなとぼね山	6の1	MR
もうすぐで夏の足音きえちゃうな	3の1	IK
雨上がり赤とんぼ飛ぶ秋の空	4の2	SF
だんごむしつちのなかでゆめみてる	1の1	TH
はだ寒い風にゆられて魚釣り	5の2	KT
スーパーにさつまいもがしせいぞろい	3の2	IR
オレンジの夕やけ空飛ぶトンボかな	6の3	TI
帰り道空見上げたら渡り鳥	6の1	SN
友が待つ教室めざし行ってきます	5の2	KE
秋のときじゅぎょうでしゅうちゅうわり算を	4の2	NR

次回10月場所は、幸田町の文化協会「ゆく雲」の方々に審査を依頼しました。日頃から俳句に親しまれている地域の方々にとよさかっ子のすてきな俳句をよんでいただけること、楽しみにしています。

鈴木化学工業所のみなさん、 ありがとうございます。

本年度も、6月中旬から先週末まで、鈴木化学工業所の方々が、工業所の正門前に手作りの看板付ウォーターサーバーを設置してくださり、また、社員の方々が毎日温かく見守ってくださいました。子どもたちは、喉を潤し、元気をチャージして、下校することができました。本当にありがとうございます。



本年度で7年目、感謝です。